

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） その件につきましては、自分の発言というので、市民の皆さんに心配をかける部分がありました。きちんとしたことを市民に向かって、これからも伝えていけるように、これから努めていきたいと思えます。申しわけございませんでした。

○議長（作元 義文君） 11番、上野洋次郎君。

○議員（11番 上野洋次郎君） この消防署の組織改革については、3月に出てくると思えますから、これはじっくり質問をさせてもらいたいと思えます。

それと、今、市長の答弁がありましたけど、対馬にはいっぱい重要な課題がある中で、しっかりやっていってもらいたいと思えますので、よろしく願いいたします。

これで、私の一般質問を終わります。

○議長（作元 義文君） これで、上野洋次郎君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。2時から開会します。

午後1時42分休憩

午後2時00分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

次に、18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） こんにちは。新政会の大部です。きょうも、清く・正しく・美しくをモットーに三つの一般質問をさせていただきます。

まず最初に、またトイレのことなんですが、市長、今回のトイレの要望で私今度8件目なんです。水洗トイレの要望は、グリーンパーク公園、大船越中学校、巖原郵便局裏の公園のトイレ、小綱小学校、それから鶏鳴小学校運動場横のトイレ、峰総合公園、豊玉中学校・小学校運動場横のトイレと今度が8件目なんです。トイレの大部さんと言われてはいますが、決してくさくはないんですが、一生懸命これをやらせていただきます。また、トイレが私の十八番になっているんですけど、たまたま議席が私18番なんです。ここんところ勘違いしないようお願いしておきます。

それでは、第1問目に入ります。浦底から比田勝までの東海岸道路沿いにはほとんどと言っていいぐらい公衆トイレがありません。今、韓国からの観光客は、昨年をはるかに超えて、ことしは20万人近い観光客になるとの報道もされております。

東海岸道路も毎年整備がされ、距離的にもかなり短縮され、また、安全面も改善がされて利用者も増えるばかりです。地元対馬の市民も近い距離を選びますが、観光で来られた人はぐるっと

一回りコースを選ぶのが常識です。国道382号だけなら行きも帰りも山の中、同じコースなら帰りは景色も同じですから眠る人たちばかりだと聞いております。それにひきかえ東海岸は、ところどころ海は見え、景観は抜群だと思われます。

しかし、今のところ、人間にとっては大切なトイレがほとんどありません。組合のトイレを借りたり、数少ないお店のトイレを借りたり、琴の出張所のトイレを利用したりしているようですが、琴の出張所は来年は廃止する計画があります。対馬をPRし、たくさんの観光客を呼び込みながらも、大切なトイレがなくては非常に困る話です。トイレの増設はできないのかお尋ねをします。

2点目、対馬の山林を生かした木材チップとペレットの市単独のチップ・ペレットの製造機の導入についてをお尋ねします。

対馬の89%が山に囲まれた島です。島内に4カ所の温泉施設がありますが、最初の計画時より燃料が高騰をし、途中で重油からボイラーを木材チップに切りかえた施設もあります。当初の計画では、チップも1立米1,500円ぐらいの単価で計画をされましたが、現在は、渚の湯で1立米2,450円、湯多里ランドでは1立米3,307円で購入しているそうです。計画から1立米約1,000円から2,000円も値上がれば赤字が出るのは当然だと思います。

行政側としては、市民の健康保持の増進を目的としてつくられた温泉施設です。しかし、このまま赤字運営のままでは、先々に不安があります。一番のネックになっているのが燃料の高騰と木材チップが計画時より、はるかに値上がりをしてしまったことが原因だと思われます。そこで、市独自の木材チップ・ペレットの製造機の導入はできないのかお尋ねをします。

また、暖房にしても、石油ストーブ、エアコン等がありますが、公の施設、老人ホーム、学校、病院の待合所、各家庭等で、木材ペレットのペレットストーブを利用すれば、木の温もりでCO<sub>2</sub>も少なく、環境にもやさしく、そして人にも木のやさしい暖かさを与えてくれるものと思います。今の木材ペレットのペレットストーブは、火力に応じ自動で落ちていきます。耐久年数も20年ぐらい持つというペレットストーブですが、部屋の広さに応じて単価が1基30万から80万ぐらいするそうです。対馬の環境をよくするペレットストーブに切りかえ購入する時、補助金は出してもらえないのかお尋ねをします。

### 3、臨港道路の照明の点検について。

せんだっての台風において、大船越だけでも2カ所の臨港道路照明の鉄柱が倒れました。幸いにも人身事故がなかったからよかったものの、一つ間違えば大惨事になります。漁港に設置されている臨港道路照明は、台風等の風が強い時、漁民は漁船の安全管理のためにロープの補強等をし、また、風が強くなればなるほど船が心配になるので船を見にいけます。悪条件が重なったことを想像すれば大惨事が起きることは言わなくても理解できると思われます。臨港道路照明が設

置をされ、古い物は30年くらいはなり、かなり老朽化が進んできております。点検の方法は、どのようになっているのかをお尋ねします。

以上三つ、市長、よろしく申し上げます。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 大部議員さんの質問に答えさせていただきます。

浦底から比田勝までの東海岸道路における公衆トイレのお話でございました。確かにことしは恐らく韓国からのお客様が18万人には達するだろうというふうに思っております。そういう中、急増する観光客の利便に支障を来たしているのではないかというふうな御質問だというふうに理解をしております。

この路線の中にトイレがまず少な過ぎるのではないかというふうな御認識のようにあります。確かに万関橋付近のあのようなタイプの貸し切りバスが駐車できて、そしてトイレも使えるような形態の公衆トイレというのは未整備でございます。

しかし、この路線の中には以前に各町で公衆トイレの整備が既にあっております。浦底のほうから入りまして、まず峰町のハートランド、これについては、まず市の施設ということで使わせていただいております。それから佐賀の派出所の付近、さらに上対馬小鹿地区に漁港の右側あたりでございます。一重に入りますと公民館のそばにあります。琴におきましては御存じのように大銀杏の奥とバス停の所に入りまして、さらに北に行きますと浜久須におきましては運動公園に設置をしております。ところが決して充足率というのは少ないとは思いません。

ただし、じゃあ公衆トイレがそこにあるということを市民の皆さんも含め皆さんがぱっとわかるかと言うと、それはまた私どもの周知不足のような気がします。今のある施設というものをまず使っていただくことからしなくてはいけないだろうと思っております。そういうサインを、案内板等を整備をしていきたいというふうに思っております。

私どもは、ややもするとあるからいいじゃないかというふうに思いがちでございますけども、やはりそのことを目で見えてすぐにわかるような仕組みはきちんとそこまではやっていく必要があらうかと思っております。そして、さらには観光パンフ等も掲載を視野に入れて工夫をしたいと思っております。まずもってその部分から取り組みを早速させていただきたいということで思っています。御理解ください。

その後それらの問題、確かに全てのトイレが浄化槽というわけではありません。簡易水洗の所もありますし落ち込みの所もあります。それらをどのようにしていくかということ、そして便器の数等も当然差がございます。それらも距離等のことも考えながら整備を進めていくためにも、まずもってなされてない部分については案内板等をきちんと補助事業等で入れ込みながらやっていきたいというふうな考えを持っております。

次に、2点目のチップ製造機の導入というお話がございました。これにつきましては当初予定していたよりも高くなっている中で、どのように市としての考えがあるのかということだろうと思いますけども、チップにつきましては今どんどん進めているところではあります。

そういう中、目的は若干違いますが、今回の契約案件でも出させていたでいておりますけれども、漂着ゴミのチップー等がございいます。これらが稼働しない時期なんかは活用をしていけるといふうには、こちらは思っております。それらについても補助を出した省庁等の導入後にすぐに話し合いに入っていって、そういうチップーとしての今おっしゃられるような部分の使い込みができるよう、機械が遊ばないようにしていきたいというふうに思っております。

それと、ペレットストーブのお話がございました。このペレットストーブにつきましては、私は実際にペレットの製造過程というのを岡山の真庭市のほうにあります銘建工業さんなんかで見させていただきました。

一つ問題は、のこくずじゃないですが、のこくず的な物を圧縮をするわけですけれども、圧縮をする段階において、とてつもなくエネルギーを消費するということがその時分かりました。

銘建工業さんは、自分の製材所における端材等でバイオマス発電をし、その発電で自分たちの電力を賄うシステムでございいますので、ある意味、ペレットを固める際のエネルギーというのを自分らの端材を使うというふうな仕組みでやっておるから今すごく安い単価で作り込んであるということがその時に分かりました。

単純にエネルギーの消費のことをやった場合に、あまりにもエネルギーのロスがあり過ぎて化石燃料の電気を使うエネルギーのほうは今度は多くなってしまうというふうな問題がここにはあるなというふうにその時感じました。

それで今私どもは、薪なり、チップなり、その段階であればエネルギー消費というのが少のうございいますので、それを推奨をしていきたいなというふうな思いを持っております。そのことによつて山林の活用というものがどんどん進んでいく状況をつくっていくことによつて需要が増えれば、今、うちが温浴施設で買っている部分も値も下がることにも当然なつていこうかと思ひますので、そのような仕組みづくりというのは、今私どものほうでの循環部会というのを立ち上げておりますけれども、森林の循環部会のほうで環境負荷低減プロジェクトチームというのが中で話し合いをしてきていますけれども、そこでも検討を行つておりまして、今現在事業用の低炭素機器等導入事業費補助金制度というのを組んでやっておりますけれども、今後事業所のみならず一般家庭における薪ストーブ等の助成制度を、来年度以降組み立てていくことによつて、林業経営のほうとのつながりをつくっていききたいという思いを持っております。

次に、大船越の臨港道路の照明の話がございました。今回の10月8日、9日でしたか、台風の際に照明が倒れるというふうなことが起こりました。航路標識、水銀灯を合わせて12基が被

害を受けております。

これは、写真でも見させていただきましたが、照明灯は高さもありますけど、鉄製の物で腐食をしていたという部分も、腐食が進んでいたということも一つの原因だと思っております。そういう意味において点検というものをきちんとやっけていかないといけないということは重々承知しております。今回何も、民家、隣の家なんかは被害が直接的な被害がなかったことだけが幸いでございましたけれども、実際あれが家に倒れでもしたら大きな被害が出ただろうなと、そういう思いで写真を見させていただきました。

それらの点検につきましては、できますれば私ども市職員も行った際には極力そのような、見るようにはしたいとは思いますが、やはり地域の方たちも気づいた時にどんどん情報をいただければ、こちら動き出しをしていきたいと思っております。ともにお互いの共有財産という思いで物件等を見ていただきたいなと思っております。

その大船越の倒れた分につきましては、一応、臨港道路の一部というふうに私どもも思っておりますけれども、一部は市道というふうにもなっております。建設部局の整備の状況等を勘案しながら取り替えを進めていきたいと思っておりますし、極力補助事業等にのせ込みながら、これについては対応をしていきたいというふうに考えております。

以上でございます。

○議長（作元 義文君） 18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） まず、当初のトイレ問題ですけれども、今市長から答弁があったとおり、実際に私たちもわからない部分が結構あるんです。それと私がピンとわかるのは、浦底に入ったらもう佐賀の公園のトイレですか、あれぐらいしか僕らはちょっとわからなくてですね。

それと、お互いに選挙したらわかると思うんですけど、大人数で行った時は小さいトイレなんかとても利用できないし、佐賀のお店屋さん、スーパーのトイレを使ったりは、（発言する者あり）はいはい、ハートランドか、あそこを使ったりはするんですけど、やっぱりなかなか選挙カーをポンと引き入れて、一回言われたのが選挙カーごと乗り入れた時、やっぱり十何人乗ってるやないですか、その時に言われたのが、できるだけこういう所では使用しないでくださいと店長から言われたことがあるんですよ。僕が今公衆トイレと本当思わずにお店のトイレかなと思っていたんですけど。

そういう意味で幾つか市長が言われた中に全然わからないようなトイレですから、恐らくちっこいトイレじゃないかと思うんです。結構大きいんですかね。僕らは大きいトイレはほとんどわからんもんですから。ある程度利用ができる、何人かできるような形やったらさっき言ったように、市長も答弁されたように、完全にここにトイレがありますよというような看板を明確にして

いってもらって、できればバスがとまればバスごと駐車できるような万関のトイレみたいな形をつくってもらえればいいと思います。市長も前向き答弁ですからトイレはもうこれぐらいにして進みます。

木材チップの件ですけど、今私も温泉施設のほうを調べさせてもらったんです。いつか私も委員会の時に調査した時に、上対馬の温泉が総事業費5億7,500万円、去年の利用者が1万5,118名。その中でチップを使っているんですけど、燃料は、302万3,000円がチップで、ちょっと重油をあそこは使ったりするんですけど、重油代が32万で、計の334万3,000円が渚の湯ですよ、上対馬の。

それから、峰のほたるの湯、事業費3億4,000万円、24年の利用客が1万5,118名、その中でここはA重油ですけど、重油が665万2,200円使っています。それから美津島の真珠の湯、これが重油代が442万3,000円、利用客は2万1,896名です、昨年が。

それから、一番大きい湯多里ランドですけど、美津島の。これが総事業費13億2,000万円、利用者が温泉が5万476人、去年利用されています。あそこはプールがあるものですから、プールが2万1,480名、合計すれば7万1,956名。ありがたいことに利用者は多いんです。しかし、この中で、ここが木材チップですけども、チップ代が1,025万4,906円。やっぱ莫大なお金なんです。それで立米の3,101立米、これが湯多里さんだけで使っているんです。

先ほど私が言ったように、私たちが政務調査に行った時、熊本に行った時に私たちは河津さん、河津造園とかいう所に行ったんですが、そのチップの単価が、市長、手元に僕もやったと思うんですが、熊本の河津さんは、今は渚の湯、上は渚の湯ですよ、渚の湯が2,450円です、立米が。湯多里は3,307円で使っているんです。

熊本の河津さんに私たちが委員会で行った時は、杉丸太の2回破碎チップ、もう小さくしたやつで、立米の1,000円なんです。それから解体木くず一時破碎、建築端材ですよ、それは立米の400円で、これは工場渡しですよ、当然。それを極端な話ですよ、当初市は1,500円ぐらいで立米計算しとったのが、今は渚の湯で2,450円、湯多里は3,307円ですよ。とんでもない差が出るし、僕もそれなりに計算をしたんです。これは今4温泉で使った去年の燃料費が2,467万3,000円になっているんです、全部合わせてですね。2,467万3,452円に。

この私の素人判断で、今熊本の河津さんが立米1,000円でくれると言うんなら、運賃掛けて二、三百円掛けたにしても、湯多里さんだけでも3,101立米ですから1,200円ぐらいで対馬まで万一来たとしたら換算の2,100円差額が出るやないですか。それを3,100立米に掛けたらやっぱり650万上って差が出るんですよ。出るやないですか、片方はそんな。渚の湯にしてもそうですよ、2,450円で今使っているやつが千二、三百円が入ったとするやない

ですか、そこの差も僕は大きいなと思って資料をその時取ってきたんです。

それで、これだけ今、ことし、この前の議会では本会議で峰のほたるの湯ですか、あそこが僕らが政務調査した時は26年には閉鎖の見込みだという、民間企業が買い手がなかったら、売却がなかったら休止予定ということやったんですけど、この前ちょっと6日の議会では指定業者が決まってきましたから、確認したら変更したということなんですけど。それでも指定業者がやっぱり赤字覚悟でやって負担しているということなんですけど、これはやっぱりなかなかずっと赤字にしたら誰もおいしいところなしで継続できんやないですか。そういう中でこれを全部の事業所を賄うだけのチップ工場をつくっても採算とれるじゃないかと。

市長が当初、僕もこれは選挙に人の後についた時に市長が言われていたのが、対馬はこれだけの山だから木を切ることで新芽が出て、新芽から新緑、それから酸素が出て、おまけに二酸化炭素もなくなるということを言われた時の、やっぱりすごい発想だなということで僕は本当心から拍手していたんです。その構想は今日お聞きしたら動いているということなんですけれども。

あまりにもこういう単価が高過ぎるもんですから、一つ僕もこれは何とかせんと、当然あっちもこっちも温泉ですから、これだけの島ですから人口は限られとるわけですから、赤字が出るのは覚悟の上でつくっているやないですか。健康維持のため、促進のためということで。だからこれをなくすわけには到底いけんと思うわけです。だからそのところでこれだけの差が出ているわけですから、もうちょっと詳細に調査してですよ。これは熊本ですから僕らは政務調査に行ったとは河津造園ですから、そこに行って運賃掛けて何ぼでくれるとか、そんなに倍にはならんですよ、運賃というのは。そのところも一つ計画を練り直してほしいのと。

それと、ペレットですけど、市長は木くずでペレットと言われましたけど、僕らが行ったところは破碎したやつをですね、僕らはちょうど魚のえさがペレットなんですけど、イワシ、サバを機械に入れて出てくるのはペレットに出てくるんです。河津さんとは、のこくずやなくて破碎したやつをガンと回して、さっきここに置いたら隣の小川君がごみくずやねえかと言うたけど、これは違うんです。これペレットなんです。こういう形で、ペレットですから、後でまた見とってくれませんか。そういう形で作り方が全然違うからですね、ちょっと僕も違うなと思ったんです。

ここの河津さんは捨てる所がないような構想にしています。山の中に、河津さんのところに載ってますけど、中にそのまま山の中に入っていって杉の根っこばボンと引っ張り起こして、杉の根って浅くてとれるらしいんです。それをとってボンと振り落して泥を――土を落として、それをぱっと何かある程度の破碎したやつを日田の発電所に売ってるんです。日田発電との木材チップというんですか、そこで火力発電として使ってもらっていると。だからもう全部やってるわけなんです。

だから、対馬も九州電力ですけど、正直言って対馬が一番赤字やないですか、九電さんも。そういう中で3カ所ある、佐須奈やらどこか言いませんけど、そういう感じで要らないやつはそういうチップなんかで使ってもらえれば、また量がふえればチップ製造機を導入したにしても何とか採算とれるじゃないかなということで渡してるんです。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 今おっしゃられた1,500円で計画されたものということでございますが、それについては適正な、どういう経過でそうなったかということも踏まえ調査はしたいと思えます。

それと、今そちらにお持ちのペレットとおっしゃいましたが、私がイメージしていたペレットは、あくまでも本当のこくずのやつをペレット化するというふうに思っていました。それで実は細かいチップ状態のやつを固化する——固める方法はないものかということ、実は県職員がいろいろなところに行く際にチップの固化のやつを見つけてきてくれと、そういう方法を調べてくれと言ってお願いをしたりもした経過があります。その時はいいのがないというふうなことで返事をもらっていたもんですから私は先ほどのような答弁をさせてもらったところですが、それは半年も前の話だったと思えます。

今お持ちのチップの細かいやつだろうと思えますが、そのチップの細かいやつのペレットというのに、先ほど言いましたようにエネルギー消費が固化させるためにどれだけかかるのかということも計算はしていかないと、固化することによっても化石燃料のエネルギー消費がふえた場合は意味ないことに、この地球にとっても意味ないことになりますので、その部分はちょっと勉強させていただきたいと思えます。

○議長（作元 義文君） 18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） ペレットは分かりますけど、まず問題になっているのが、問題というか、温泉施設のチップですよね。これだけ差がありながら、まだこれだけ、また、ほたるの湯と湯多里を全部チップにした場合やったら、先ほど言いますように結構金額が張ってますので全然違ってくるのではないかなと思うんです。そういう構想というのはないんですか。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 私先ほど言い忘れたなと思うのが、先ほど上野議員さんのほうから質問があったことと重なるんですけども、要はエネルギーのベストミックスという言葉で国のほうは表現していますが、いろんな電源開発があるわけです。その何割にもっていったが一番いいのか。化石燃料で今やっている発電の問題を何割に落とせるのかと。落とすことによって、対馬にとって今度は木材のこととか風力のこととか潮力のことなんかを組み合わせる時に、この仮に木材の部分がバイオマス発電の部分が広がった時に今度はそれから起こってくるさまざまな産業との兼



ね合いなんかも調べ上げて組み立てていこうと今してるところです。

そういう中で今の話とも今度は絡んでくるだろうなというふうにも思いますので、そのエネルギーコンソーシアムの会議が今月末にありますけども、その時にもそのようなお話も含め、どのようにそれを組み込んでいくかということを経験としてもこちらが投げかけたいと思います。

○議長（作元 義文君） 18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） ぜひ市長これを取り組んでほしいと思います。そうしないと何回も繰り返しますように、やっていこうにも存続できないような温泉施設になってしまったら、せっかく何億もかけてつくった温泉施設、ましてや対馬の市民の健康促進が目的でつくられた施設ですから、ぜひ途絶えないようにやってください。そしてまた、その答弁と私たちは政務調査は熊本の河津造園にしか行ってないですから、ほかにまだ安いところがあるかも分かりませんから、導入計画も同時に一応計算してもらって、何とかやはり黒字の出る、せめて長く存続できる温泉施設のほうにしてほしいと思います。

それと、ペレットですけども、市長は、薪ストーブと言われましたけど、僕らが行った時も、薪ストーブは火力はある。もちろんペレットよりはあるらしいんですよ。でも、薪ストーブは収納に困るやないですか。あったですよ、河津さんもこれぐらいに切ってますね、だるまストーブというんですか、その感じでやってましたけども、一番困るのが収納、学校とか病院とかに使った時、このペレットストーブだったらこういう10キロ入り、20キロ入りであるんです。これはキロ35円なんです、河津さんが売ってるのが、20キロで700円です、この大きなもので。

今、市長、テレビ屋さん、これを映してもらったらいいんですが、ペレットストーブもクラシックデザイン的なこういうやつですね、それとか僕もびっくりしたんですよ、スタイル、コンパクトなやつ、それからワイドなやつ、それからクラシックモデルなやつとかあるんですよ。また市長後で見てもらいますけども、こういうモダンな、どこの部屋に置いても普通の立派なやつなんです。こういうストーブでおまけにリモコンなんです。リモコンで作動されて燃焼できて、もちろん着火もできる、火力も調整できる。もうびっくりしたんですけど、こういうのもありますからね。

なかなか薪ストーブを家の角に置いてというのはなかなか、市長、僕は普及しにくいと思うんです。ストックする時がなかなか難しいと思うし、ペレットやったらもう米袋みたいなやつに入ってたからボンとどこにでも積んどってやれるということもありますので、ぜひ参考にしながら、できればそういう時が、導入できるような形がとれれば、補助とかは考えてないのか。ストーブを購入する時にできないか。お願いします。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） そのあたりについては、まさに私どもの対馬の今後の産業のあり方の中

で林業の位置づけでどのように全体が関連させていくかという中で、市民の皆さんも今おっしゃられるような部分についての補助制度はそれが構築されるという見通しが、全体がですね。

（「はい、はい」と呼ぶ者あり）ということになればまさにその、仮にペレットストーブ的な物が補助制度をつくってもいいじゃないかというコンセンサスは得られるというふうに思っております。そのためにも山のつくり込みといいますか、との関連は全てありますから、これだけつくってもこっちが動かなければ意味がありませんので、全体が動くというふうな先ほどから言います循環部会等で話している部分で組み立てをしていきたいというふうに思います。

○議長（作元 義文君） 18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） ぜひ実現化するようにお願いします。そうすることによって今本対馬の山というのは荒れ放題、お金にならないで困っているわけですから、雑木、間伐材、いろんな名目で間伐材でも山の中に放置して肥料とか言ってますけど、そんなのがお金になればまた違うし、木を切ることによって、さっきから市長の構想があるように、新緑から酸素が出て、酸素もまた売ろうとかいう、そういう構想に飛んでいきますので、ぜひ実現に向けて頑張ってもらいたいと思います。

それから、臨港道路ですけど、これは僕もまだよそは見回ってはないんですよ。ちょっと久田のほうとか、こういう通る道を見ただけですけど。うちのところ、大船越でびっくりしたんですよ。家の中に倒れてなかったからよかったようなものの、あれ高さかれこれ10メートル近くありますもんね。僕も倒れてるからということで区民のほうから連絡もらって見にいっただけです。

そして、もう一つおやっと思っただけ、今市長が言われたように自分のところだけ見回った中で、大船越の橋渡って一番最初の海岸通りで二股になってる照明があります。そこを見たら、また帰りでも見られたらいいかと。何か所か鉄柱の、もう私よりちょっと高い所がもう何か所穴がほげてます。あれもうちょっと南風が吹いたら道路寄りに倒れるし、反対側に倒れれば万一船が通りよる時やったら大変なことになりますのでね。いや、これはいかんと思って僕もこれ一般質問させてもらったんですよ。どういう点検の方法をしたらこういう、言い方悪いですけど放置されたようなですね。あの穴を見て僕はびっくりしたんですよ。もう本当帰りに見られたら私もこういう立場ですからないことは言いませんのでね。もう薄くて、そうですね、もう何か所ですかね、結構小指が入るような穴が幾つもほげてます。固まってほげてるところがありますのでね。

だから、これ、点検方法がどんなになってるかちょっと心配になったからお聞きしたんですけど、今のところ職員とかそういう話ですけど、僕らはやっぱ議員しとってもこういう事故がないと正直見て回らんですよ。こういう事故が起こって初めて僕も自分の地区だけは見て回って1カ所そういうところが気がついたんです。あれはもう早急に見て、倒れてからじゃ遅いから見ても

らったらいいと思います。二股になってますよ、あそこ。あとは一つですけどね。

そういう感じですので、やっぱりもうちょっと何とかしていったがいいと思うんです。やっぱり逆に区長さんなんか逆にお願いをしますよ。今のところ区長さんに聞いたらそんな話はないと言うからですね。直接そういう形でお互いに助け合い言うたらおかしいですけど、そういうつもりで自分の地区を守るためにお願いしますということになれば、区の総会とかいろんな形で言えば区民もやっぱりちょっと気にして、お互いに、大船越だけじゃなくて各地区にいっぱいあるわけですから気がつくと思いますので、そういう方法をとってもらったらいいと思いますが、市長。

○議長（作元 義文君） 市長、財部能成君。

○市長（財部 能成君） 今おっしゃられたように、市のほうで専ら点検をしていくというのは不可能な陣容にもなっておりますので、市民の皆様にも助けてもらいながら、そのあたりの点検を一緒にやっていくみたいな態勢というのをつくらなくてはいけないと思います。

今提言がありましたように、区長さんのほうにこちらのほうが出向いて、区民集会みたいなのに、やはりそのようなことを伝えることが、仮にその中で区民の中からこういう点検の、ことし担当は誰だよとか決めてもらえるようなシステムをつくっていくことが必要だと思いますので、それについては早急にどういうふうな形でやっていけるかを検討をして、来年の4月に臨みたいと思います。

○議長（作元 義文君） 18番、大部初幸君。

○議員（18番 大部 初幸君） ありがとうございます。残り8分になりました。もうずっとさっきの議員から8分残してるんです。どこの議員かわがままなやつがおって、早く、8分でやめろということですので、私も8分でやめさせていただきます。前向きな答弁ありがとうございました。終わります。

○議長（作元 義文君） これで、18番、大部初幸君の質問は終わりました。

○議長（作元 義文君） 暫時休憩します。3時から開会します。

午後2時43分休憩

午後2時58分再開

○議長（作元 義文君） 再開します。

次に、2番、小島徳重君。

○議員（2番 小島 徳重君） こんにちは。市民つしまの小島徳重でございます。本日5人目、最後の登壇者となりました。議長をはじめ議員の皆さん方あるいは市長をはじめ執行機関の皆様方、大変お疲れだろうと思いますけども、最後までどうぞよろしく願いをいたします。